



IBの試験例

TOK(知の理論)

「知識を生み出す過程においては、そのすべての段階に創造性が伴う」この主張を2つの「知識の領域」に言及しながら論じなさい。

生物SL

アメリカビーバー(Castor canadensis)は、アルゼンチンとチリに近い島々に持ち込まれ、外来種になりました。ビーバーがその生態系に対して有害であるかまたは有益であるかを判断するための生態学的基準を1つ論じなさい。

歴史HL

「1937年までの日本の外交政策の目標は、『段階的かつ平和的な方法』(資料J)を通じて達成されようとしていた」という見方に、あなたはどの程度同意しますか。資料と自身の知識を用いて、述べなさい。

物理SL

ある生徒が、電子タイマーを使い、自由落下における加速度gを見積もった。彼女は、小さな金属製のボールを0.50mの高さhから落とし、落下にかかる時間tを測定した。このとき、時間の測定値の不確かさは0.3%で、高さの不確かさは0.6%であった。式 $h=gt^2/2$ から予想されるgの値の不確かさを、パーセントで計算しなさい。また、より信頼できるgの値を得るために生徒ができることを説明しなさい。

数学HL

オーストラリアにおける新生児の体重Wは、平均3.41kg、標準偏差0.57kgの正規分布に従います。低出生体重児とは、体重がw kg未満である新生児のこととします。ここに低出生体重児である新生児が1人います。この新生児の体重が2.15kg以上である確率を求めよ。

English B HL

A recent national survey has found that a majority of teenagers believe online gaming should be classed as a sport. Write a text that discusses to what extent you agree with this view, giving reasons for your opinion. Choose from the following text types: Speech / Blog / Email. Write 450-600 words.

(最終試験・所定課題より抜粋)

IBDPコースでの学び

IBでは知識を得ることに加えて発表、議論、論文執筆などを行います。評価はPaper 1～3は「外部評価」のテスト、それ以外は高校での「内部評価」となります。

科目	主な内容	評価方法
日本語 A 言語と文学	SLで4つの文学作品、HLで6つの文学作品の他、SNSや広告など様々な文章形態を学ぶ。また、文化的な文脈における言語・言語とマスコミュニケーションについて考察し、理解力・分析力を養う。	< HLの場合 > 個人口述テスト:20% (論評10分/質疑応答5分) 小論文:20%(4,000字以内) Paper1:35% (テキスト比較分析135分) Paper2:25%(課題小論文105分)
English B	【Themes】 1. Identities, 2. Experiences, 3. Human ingenuity, 4. Social organisation, 5. Sharing the planet At HL students will study two literary works originally written in English.	Individual oral: 25% SL Preparation time 15 mins. Presentation 3-4 mins., Discussion 10-11 mins. HL Preparation time 20 mins. Presentation 3-4 mins., Discussion 10-11 mins. Paper 1: 25% (writing task SL 75 mins., HL 90 mins.) Paper 2: 50% Listening/Reading comprehension (SL: 105 mins., HL 120 mins.)
歴史 (HL)	Paper1:世界的規模の戦争への動き Paper2-1:独裁主義的国家 Paper2-2:20世紀の戦争の原因と結果 Paper3:アジアとオセアニアの歴史	歴史研究(20時間):HL20%(25点) Paper 1:HL20%(資料問題90分) Paper 2:HL25%(小論文90分) Paper 3:HLのみ35%(小論文150分)
Environmental Systems and Societies	Topic 1: Foundations of environmental systems and societies Topic 2: Ecosystems and ecology Topic 3: Biodiversity and conservation, etc.	Individual investigation: 25% (1,500-2,250 words 10 hours) Paper 1: 25% (Case study 60 mins.) Paper 2: 50% (Short answer questions, 2 essays 120 mins.)
物理 生物 化学	物理:測定と不確かさ/力学/熱物理学 他 生物:細胞生物学/分子生物学/遺伝学 他 化学:物質と量的関係/原子の構造 他	個人研究:20%(6~12ページのレポート10時間) Paper 1:SL20%45分HL20%60分 選択式 Paper 2:SL40%75分/HL36%135分 論述他 Paper 3:SL20%60分HL24%75分 論述他
数学	代数/関数と方程式/三角関数と三角法/ ベクトル/確率・統計 他	数学的探求:20%(6~12ページのレポート10時間) Paper 1:SL40%90分HL30%120分 電卓使用不可で短答式と論述式 Paper 2:SL40%90分HL30%120分 短答式と論述式で公式集と電卓使用可 Paper 3:HL20%60分論述式公式集と電卓使用可
Film	Reading Film – understanding film as an art form Contextualizing Film – explore the focus of films and the cultural contexts Exploring Film Production Roles – create films through various roles	“External Assessment” Textual Analysis: (SL 30% HL 20%) a 1,750 - word detailed reflection of a 5-minute scene Comparative Study: (SL 30% HL 20%) 10-minute cultural comparison of two films "Internal Assessment" Film Portfolio: (SL 40% HL 25%) a 9-page production portfolio and 9-minute film reel Collaborative Production: (HL 35%) a completed 7-minute film and a 2,000-word project report Collaboratively Producing Films (HL only) creating films in select groups
TOK 知の理論	6つのテーマ:技術・言語・政治・宗教他 5つの「知識の領域」数学・歴史・芸術他 4つの「知識の枠組み」視点・方法・倫理他	TOKエキシビション:35% 所定課題エッセイ:65%(3,200字以内)
EE 課題論文	科目を選択し、研究課題(RQ)を組み立て研究と論文執筆を行う。	外部評価:100%(8,000字の論文執筆)
CAS 創造性・活動・奉仕	7つの学びの成果(長所と成長すべき点の認識、等)を達成するよう活動	3つの分野と7つの学びの成果すべてを達成した証拠をポートフォリオに残してIBに提出

茗溪学園高等学校普通科IBDPコースのご案内 (2019-2020)

国際バカロレアの使命

IB Mission Statement

国際バカロレア機構

『国際バカロレア(IB)の教育とは?』
2014年6月 より

「国際バカロレア (IB) は、多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する、探究心、知識、思いやりに富んだ若者の育成を目的としています。

この目的のため、IBは、学校や政府、国際機関と協力しながら、チャレンジに満ちた国際教育プログラムと厳格な評価の仕組みの開発に取り組んでいます。

IBのプログラムは、世界各地で学ぶ児童生徒に、人がもつ違いを違いとして理解し、自分と異なる考えの人々にもそれぞれの正しさがあり得ると認めることのできる人として、積極的に、そして共感する心をもって生涯にわたって学び続けるよう働きかけています。」



目次

茗溪学園・IBDPコースからの

メッセージ **P.1**

IBDPコースのカリキュラム **P.2**

IBDP開設科目一覧 **P.3**

IBDPコースでの学び **P.4**

2017年4月、茗溪学園でIBDPコースが始まりました。



教育実験校・茗溪学園の使命

茗溪学園の創設は1979年、学力偏重の中等教育批判に応える取り組みをする教育実験校として、筑波大学の同窓会「茗溪会」によって創設されました。学習に加えて多くの行事や本物に触れる体験をカリキュラムにふんだんに盛り込み、何かに挑戦しようという強い意欲と自信を持った生徒を数多く育ててきました。

建学の理念にもある通り、知・徳・体の調和した人格の形成を図りつつ創造的思考力を伸ばす中で、生徒達は国境も言語も価値観も越えられるような様々な力を身につけていきます。そして歴史や伝統から学びつつも、意欲的かつ大胆に新たなことに挑戦することで社会や世界に貢献し、自己や世界の未来を切り拓いていくことのできる人材を育てていくことが茗溪学園の使命です。

A Message from the IBDP Course Director

More and more, our global society is requiring well-rounded culturally-aware citizens who are able to respond to situations which were unimaginable to their grandparents or even their parents. Our IBDP course students enjoy a wide and rich range of learning experiences, which will help to prepare them to take the lead and make constructive contributions in such conditions, be it in Japan or on the international stage.

Yvette Flower

IBDP Course Director



茗溪学園 中学校高等学校
Meikai – Making the Difference

〒305-8502
茨城県つくば市稲荷前1-1
tel 029-851-6611
fax 029-851-5455
http://www.meikai.ac.jp/



Meikai
High School



国際バカロレア機構ホームページ

<http://www.ibo.org>

国際バカロレア機構

IBワールドスクール【茗溪学園】

<http://www.ibo.org/en/school/051095/>

IBの学習者像

国際バカロレア機構
『国際バカロレア (IB) の教育とは?』より

「IBの学習者像」は、IBワールドスクール (IB認定校) が価値を置く人間性を 10 の人物像として表しています。こうした人物像は、個人や集団が地域社会や国、そしてグローバルなコミュニティの責任ある一員となることに資すると私たちは信じています。

探究する人 Inquirers

私たちは、好奇心を育み、探究し研究するスキルを身につけます。ひとりですんだり、他の人々と共に学んだりします。熱意をもって学び、学ぶ喜びを生涯を通じてもち続けます。

知識のある人 Knowledgeable

私たちは、概念的な理解を深めて活用し、幅広い分野の知識を探究します。地域社会やグローバル社会における重要な課題や考えに取り組みます。

考える人 Thinkers

私たちは、複雑な問題を分析し、責任ある行動をとるために、批判的かつ創造的に考えるスキルを活用します。率先して理性的で倫理的な判断を下します。

コミュニケーションができる人 Communicators

私たちは、複数の言語やさまざまな方法を用いて、自信をもって創造的に自分自身を表現します。他の人々や他の集団のものの見方に注意深く耳を傾け、効果的に協力し合います。

信念をもつ人 Principled

私たちは、誠実かつ正直に、公正な考えと強い正義感をもって行動します。そして、あらゆる人々がもつ尊厳と権利を尊重して行動します。私たちは、自分自身の行動とそれに伴う結果に責任をもちます。



IBDPコースのカリキュラム

高校1年生では日本の高校教育課程を中心に、週8時間はpre-IB科目、高校2・3年生ではIBDP科目を中心に履修。日本の高校卒業資格とIBDP資格を取得します。

国際バカロレア・ディプロマプログラムとは (IB機構「IBの教育とは?」より)

ディプロマプログラム (DP) は大学入学前の生徒を対象とした、幅広い分野を学習する2年間のプログラムで、知識豊かで探究心に富み、思いやりと共感する力のある人間を育成することを目的としています。また、多様な文化の理解と開かれた心の育成に力を入れており、さまざまな視点を尊重し、評価するために必要な態度を育むことを目指しています。

国際バカロレア・ディプロマプログラム・プログラムモデル

右の同心円状の図は、IBDPのカリキュラムを表したものです。中心には学習者がいて、10の「学習者像」が示されています。次に「学習の方法」と「指導の方法」が示され、その外側には6つの科目群とそれを横断する形で3つのコア科目(知の理論、課題論文、創造性・活動・奉仕)がデザインされています。

生徒達は6つの科目群(Group)から1科目ずつ選択し、さらにコア科目も受講する中で、幅広い学習分野を同時に並行して学んでいきます。

IBの「学習の方法」と「指導の方法」

「学習の方法」と「指導の方法」には、IB教育を支える重要な価値感と原則が含まれていて、学習方略やスキル、態度として、指導や学習の場に活かされます。

学習の方法	①思考スキル	②社会性スキル	③コミュニケーションスキル
	④自己管理スキル	⑤リサーチスキル	
指導の方法	①探究を基盤とした指導	②概念に重点を置く指導	
	③文脈化された指導	④協働に基づく指導	
	⑤生徒の多様性に応じて差別化した指導	⑥評価を取り入れた指導	



DP1 他国生徒との授業交流の様子



DP2 顕微鏡による微生物の観察

茗溪学園でのIBDP開設科目一覧

Group 1 言語と文学	日本語 A 言語と文学 (SL/HL)
Group 2 言語の習得	English B (SL/HL)
Group 3 個人と社会	歴史(HL) Environmental Systems and Societies (SL)
Group 4 理科	物理 (SL/HL) 生物 (SL/HL)
Group 5 数学	数学 応用と解釈 (SL) /解析とアプローチ (HL)
Group 6 芸術	Film (SL/HL) 化学 (SL/HL)
コア科目	知の理論 (TOK) / 課題論文 (EE) / 創造性・活動・奉仕 (CAS)

※1 日本語表記の科目は日本語で開講、英語表記の科目は英語で開講、英語科目は2科目以上受講。

※2 SLは標準レベル(週3コマ)、HLは発展レベル(週5コマ)。SLを3科目、HLを3科目受講。

※3 課題論文は8,000字(英語の場合は4,000語)の論文を執筆。

※4 高1では日本の高卒資格を満たすための科目とpre-IB国語(2)pre-IB英語(4)pre-IB理科(2)を受講。高2ではIB科目に加えて、体育(3)・日本史A/地理A(2)を受講。高校3年生ではIB科目に加えて、体育(2)・保健(1)・情報(1)を受講。

進路は日本へ、世界へ

日本の大学でも「IB入試」は広がりつつあり、2018年10月現在61大学が導入済または導入予定(文科省調べ)です。

またIBDP資格は、世界では100ヶ国以上、20,000校以上の大学で入学資格や受験資格として認められており、世界の大学で学びたい人にとっては大きな武器となります。またIBDPでの学び方はそのまま海外の大学でも通用する学び方となりますので、IBDPコースの授業やプログラムを履修していく中で海外の大学で学ぶ自信も育てていくことができるでしょう。

海外の各大学や留学支援機構などによる返還不要の各種奨学金などもあり、また欧州の大学などは学費も比較的安価、さらに就職では語学力に加えて海外経験もある日本人留学生に注目する日本企業も増えており、日本で、世界で、活躍する舞台は大きく広がってきています。



心を開く人 Open-minded

私たちは、自己の文化と個人的な経験の真価を正しく受け止めると同時に、他の人々の価値観や伝統の真価もまた正しく受け止めます。多様な視点を求め、価値を見だし、その経験を糧に成長しようと努めます。

思いやりのある人 Caring

私たちは、思いやりと共感、そして尊重の精神を示します。人の役に立ち、他の人々の生活や私たちを取り巻く世界を良くするために行動します。

挑戦する人 Risk-takers

私たちは、不確実な事態に対し、熟慮と決断力をもって向き合います。ひとりで、または協力して新しい考えや方法を探究します。挑戦と変化に機知に富んだ方法で快活に取り組みます。

バランスのとれた人 Balanced

私たちは、自分自身や他の人々の幸福にとって、私たちの生を構成する知性、身体、心のバランスをとることが大切だと理解しています。また、私たちが他の人々や、私たちが住むこの世界と相互に依存していることを認識しています。

振り返りができる人

Reflective

私たちは、世界について、そして自分の考えや経験について、深く考察します。自分自身の学びと成長を促すため、自分の長所と短所を理解するよう努めます。

